

病 防 第 1 5 4 号  
平成 2 6 年 3 月 1 7 日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

チャバネアオカメムシの越冬調査結果（技術情報第18号）について（送付）  
このことについて、下記のとおりとりまとめましたので、業務の参考にご活用ください。

### 記

#### 1. 目的

チャバネアオカメムシは、果樹の主要な害虫のひとつである。被害は5～10月まで発生するが、7月頃までは越冬した成虫が、それ以降はその年に羽化した成虫が加害する。

これまでの調査で、越冬成虫数が多いと7月までの予察灯誘殺数や、被害が多くなる傾向が認められている（図1）。そこで、県内各地のチャバネアオカメムシの越冬成虫数を調査することで、7月までの発生量を予測し、防除対策に資する。

#### 2. 調査内容

##### （1）調査方法

チャバネアオカメムシは、常緑広葉樹の落葉の下に潜り、体色を茶色に変えて越冬する。暖かくなると体色が緑色に変わり、落葉の中から脱出し活動を再開する。この性質を利用し、以下の方法で越冬成虫数を調査した。

本種の越冬密度が高いとされる南向きのシイ、カシなどの広葉樹林を調査地点に選定し、各地点3m<sup>2</sup>（1m<sup>2</sup>×3カ所）分の落葉を集めた。大きな枝葉や細かな土などを除去したうえで大型のビニール袋に入れ、25℃の恒温室に約2週間収容し、落葉中から脱出したチャバネアオカメムシの個体数を計数した。

##### （2）調査時期 平成26年1月～2月

##### （3）調査地点 県内16カ所の定点

熊本市（3地点）、宇城市（5地点）、玉名市、山鹿市、菊池市、甲佐町、氷川町、芦北町、天草市、苓北町

#### 3. 結果の概要

落葉中3m<sup>2</sup>当たりのチャバネアオカメムシの越冬虫数は、県内16地点の合計6頭（前年13頭、平年7.1頭）であった。捕獲地点数は、16地点中6地点（前年8地点、平年5.6地点）であった（表1）。

#### 4. 今後の発生状況等

(1) 平成26年のチャバネアオカメムシの越冬成虫数と捕獲地点数は平年並で、前年より少ないことから、7月までの樹園地への飛来量は平年並で、前年より少ないと予測される。

なお、ここで示したデータには、近年発生量や被害が増加傾向にあるツヤアオカメムシの越冬量は含まれていない。

(2) チャバネアオカメムシやツヤアオカメムシは局地的に飛来し、被害をもたらすことがあるので、定期的に園を見回り早期発見に努める。

なお、今後1ヶ月は気温が平年より高く推移すると予測(九州北部地方1か月予報、平成26年3月13日、福岡管区気象台発表)されていることから、越冬成虫が活動を始める時期が早まり、早期に園へ飛来する可能性があるので注意する。

(3) チャバネアオカメムシおよびツヤアオカメムシに関する予察灯およびフェロモントラップの誘殺データを、病害虫防除所のホームページに4月以降随時掲載するので、この情報を参考に適期防除等の対策を行う。

(<http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/index.html>)

表1. チャバネアオカメムシの越冬数 (頭/3m<sup>2</sup>)

調査年 調査地点	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	平年値 (過去8年)
熊本市河内町①	0	0	2	0	0	1	0	1	0	1	1	0.4
熊本市河内町②	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
熊本市植木町	3	0	3	1	0	1	0	1	1	3	1	1.3
宇城市三角町①	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0.4
宇城市三角町②	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.0
宇城市不知火町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
宇城市松橋町	0	0	1	0	1	0	1	0	0	2	1	0.4
宇城市豊野町	0	1	3	1	0	0	0	1	0	1	1	0.5
玉名市天水町	0	0	0	0	0	2	0	1	1	1	0	0.6
山鹿市蒲生	0	0	6	1	0	1	1	2	0	2	1	0.9
菊池市玉祥寺	0	0	2	0	0	0	1	0	0	2	0	0.4
甲佐町西寒野	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0.5
氷川町大野	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0.1
芦北町田浦	1	1	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0.4
天草市本渡町	2	1	19	0	0	2	0	1	1	1	0	1.0
苓北町内田	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0.4
越冬数合計	10	4	43	4	2	9	4	9	4	13	6	7.1
捕獲地点数	6	4	12	4	2	7	4	8	4	8	6	5.6

注) 平年値は、過去10年のうち最多の年(H18)と最少の年(H20)を除いた8年間の平均値。

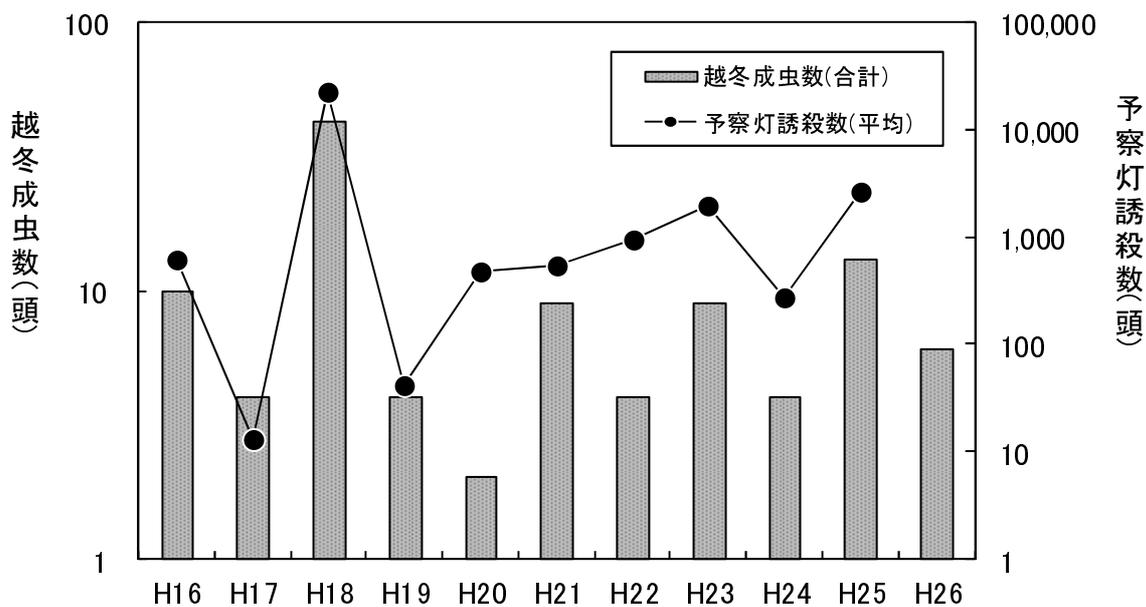


図1. チャバネアオカメムシの越冬成虫数と前期予察灯誘殺数の推移

※「越冬成虫数」は、各3㎡調査した16地点の合計頭数を対数表示(棒線-左縦軸)した。

「予察灯誘殺数」は、合志市栄、宇城市松橋、天草市本渡に設置した予察灯の、4月から7月までの累積誘殺数を平均し、対数表示(折線-右縦軸)した。

熊本県病虫害防除所  
 担当：清永  
 Tel 096-248-6490  
 FAX 096-248-6493